

2021 年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	永原 真奈見	職名	講師	学位	博士(人間環境科学)(福岡女子大学)
----	--------	----	----	----	--------------------

研究分野	研究内容のキーワード
栄養教育学	食育、生活習慣、食事調査、料理区分、特定保健指導

研究課題
<ol style="list-style-type: none"> 小学生における生活習慣や不定愁訴の実態の検証 特定保健指導の6か月時での3%減量目標の意義と3か月時評価への応用可能性 特定保健指導終了によるメタボリックシンドロームの罹患及び脱却への効果(9年間の縦断研究) 主食・主菜・副菜等の料理区分を活用した食事評価

担当授業科目
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育論Ⅰ ・栄養教育論Ⅱ ・栄養教育論実習Ⅰ ・地域栄養活動論 ・管理栄養士演習Ⅱ(栄養教育論) ・臨地実習Ⅲ ・高齢者支援学Ⅰ・Ⅱ ・初年次セミナーⅠ

授業を行う上で工夫する事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 栄養教育論Ⅰ 担当 】(2年生後期)</p> <p>管理栄養士国家試験の出題基準における「栄養教育論」分野は、出題範囲が広く、教科書の分量も多い。毎回の講義は、教科書に加えて、パワーポイントによるスライド(ムービー等も利用)とプリント資料(書き込み欄付)を作成・配布し、学生の理解度が深まる工夫を行っている。また毎回、前回の講義内容の復習小テストを実施し、学生の理解度を把握しながら講義を進めている。2年生で履修する科目であるが、国家試験において出題頻度が高い用語についてはその旨を強調し、時には過去問を示して解説を行うことで、国家試験対策にも通じるよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 栄養教育論Ⅱ 担当 】(3年生前期)</p> <p>栄養教育論Ⅰで学んだ理論を基に、各ライフステージやライフサイクルに応じた栄養教育の特徴や課題、国や自治体における健康づくりの制度及び施策について解説している。栄養教育論ⅡにおいてもⅠと同様に、毎回、前回の講義内容の復習小テストを実施し、学生の理解度を把握しながら講義を進めている。また、講義の中で各ライフステージにおける実践活動の実際を紹介することで、学生がイメージしやすいように工夫している。</p>
<p>授業科目名【 栄養教育論実習Ⅰ 担当 】(3年生前期)</p> <p>栄養教育論Ⅰ・Ⅱの講義で学んだ知識・理論を基に、個人及び集団におけるカウンセリングや栄養教育を実際に体験し、計画・実施・評価・改善を通して栄養教育マネジメントスキルを習得することを目標としている。健康や食生活に関する情報収集、優先課題の特定、学習計画の立案、実施、評価、改善までのPDCAサイクルの作業を体験的に学ぶことで、実践につなげられるよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 地域栄養活動論 分担 】(3年生後期)</p> <p>地域のあらゆる場面で活躍する管理栄養士の業務内容について、実際の手法をもとに解説を行い、管理栄養士の役割について解説している。また、地域栄養活動実践の概要と行政組織、地域における公衆栄養活動プログラム立案の手法等についても理解が深まるよう工夫している。</p>

<p>授業科目名【 管理栄養士演習Ⅱ (栄養教育論担当) 】(4年生前期・後期)</p> <p>「栄養教育論」分野を担当している。国家試験対策の模擬試験受験後に配布される解答・解説書は、解説が簡素であることが多いため、「栄養教育論」分野に苦手意識をもつ学生も多い。出題された問題の各選択肢について、解答のみにとどまらず、その範囲で系統化して習得しておくべき基礎知識も併せて解説している。</p>
<p>授業科目名【 臨地実習Ⅲ 分担 】(3年生後期)</p> <p>臨地実習Ⅲでは、保健所へ実習に行く学生の指導を行う。実習期間中に実施される実習課題や研究授業内容を事前に確認し、より円滑に実施できるよう指導している。臨地実習の巡回時には、実習中の学生への助言及び学生の研究授業の講評を行っている。実習報告会では、各施設での実習内容について講評を行い、教員としての立場から実習の効果が最大限に得られるよう努めている。</p>
<p>授業科目名【 高齢者支援学Ⅰ・Ⅱ 分担 】</p> <p>アクティブシニアが活動的に生活し続けるための支援方法について、看護・福祉・栄養の各専門分野から解説と実技指導を行う科目である。栄養分野では、高齢者の低栄養・過栄養と高齢者に特有な病態との関連、必要なエネルギー及び栄養素とその食事バランス及び栄養状態の評価・判定について指導している。</p>
<p>授業科目名【 初年次セミナーⅠ 分担 】(1年生前期)</p> <p>学生自らが目的をもって主体的に学ぶための着想力、論理性、表現力、独創性などの力を養成するため、1年生を対象に、スタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図ることを目的とした科目である。その中でも、ノート・テイキングやリーディングに関する講義を担当し、例題を使って実際に体験させながら習得させることで、講義の中で定着を図るよう工夫している。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本栄養士会		2001年4月～現在に至る
日本食育学会		2018年4月～現在に至る
日本栄養改善学会		2019年9月～現在に至る
		(2001年4月～2016年2月まで所属)
日本産業衛生学会		2019年11月～現在に至る

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 1. 男性勤労者における 特定保健指導の6か 月時での3%減量目標 の意義と3か月時評 価への応用可能性	共著	2021年5月	産業衛生学雑誌 63, 3	2008年～2017年に、一般財団 法人日本予防医学協会によっ て実施された特定健康診査を 受診した男性勤労者を対象と した特定保健指導において、6 か月時で3%減量を目標とす る意義と、3か月時評価への応 用可能性について明らかにす ることを目的とした。特定保 健指導において、6か月時で 3%減量を目標とすることの 意義が明らかとなり、3か月時 における減量目標を2.0%と

2021年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
2. 勤労者における特定 保健指導終了による メタボリックシンド ロームの罹患及び脱 却への効果：9年間の 縦断研究	共著	2021年10月	日本食育学会誌 15, 187-195	<p>する応用可能性が示唆され た。</p> <p>2008年に特定保健指導を終了 したか否かによって、その後 の9年間におけるMetSの罹 患及び脱却の推移、及び追跡 期間前後の健診データ変化量 に違いが認められるかについ て検証した。終了群の方が未 了群よりもMetS罹患率は低 く、MetS脱却率は高かったこ とが明らかとなった。</p>
(学会発表) 1. 小学校1年生の生活 習慣・不定愁訴の実態 と就寝時刻・保護者の 生活習慣との関連	共著	2021年6月	第9回 日本食育学会 (開催：Web) ※論文賞受賞発表	<p>入学後2ヶ月時点における小学 1年生において、就寝時刻が遅 いことが他の生活習慣等に悪 影響を及ぼしている可能性、ま た保護者の朝の不調や好き嫌 い、食への積極性が子どもの生 活習慣に影響を与えている可 能性が示唆された。</p>
2. 10年間のメタボリッ クシンドロームの推 移と生活習慣及び健 診値との関連	共著	2021年10月	第68回 日本栄養改善学会 (開催：誌上)	<p>10年間の健診データを用いて、 メタボリックシンドローム(Me tS)の経年的な該当状況と生活 習慣や健診値、特定保健指導の 受講状況との関連を検証し、是 正すべき生活習慣や保健指導 受講の意義を明らかにした。M etSの経年的な該当状況は、朝 食の欠食習慣、ベースライン時 の健診値の不良、保健指導の未 受講と関連している可能性が 示唆された。</p>
				<p>研究業績総数 (2022年3月1日現在)</p> <p>学術論文 原著論文 8(うち筆頭 5) 研究ノート 4(うち筆頭 0) 紀要 15(うち筆頭 4) 学会発表 55(うち筆頭 13)</p>

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
サッカーチーム「SANXTUS (U-13)」 における栄養講習会	講師 タイトル 「目指せ 健康日本一！ 丈夫な体を作ろう！」	2021年7月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

教職課程委員 オープンキャンパスにおける模擬授業担当（2021.8.21 及び 2021.9.4）
--